

第1編 共通工 第1 土工  
 1-6 ホイールローダ掘削積込み

		改正後	現 行																											
誤	<p><b>1-6 ホイールローダ掘削積込み</b></p> <p>1 機種の選定 標準として使用する機種は次表を標準とするが、工事量、工期、現場条件を勘案して最も適した施工方法を選定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種類</th> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削積込み</td> <td>ルーズ、普通土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第3次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.2</u> m<sup>3</sup></td> <td>切土高3m以上は補助ブルドーザが必要</td> </tr> <tr> <td>やや固結した土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第3次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.2</u> m<sup>3</sup></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup></td> <td>積込みのみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) (略)</p> <p>2・3 (略)</p>	作業種類	作業内容	機種	摘 要	掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第3次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要	やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第3次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	〃	破碎岩	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ	<p><b>1-6 ホイールローダ掘削積込み</b></p> <p>1 機種の選定 標準として使用する機種は次表を標準とするが、工事量、工期、現場条件を勘案して最も適した施工方法を選定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種類</th> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削積込み</td> <td>ルーズ、普通土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.1</u> m<sup>3</sup></td> <td>切土高3m以上は補助ブルドーザが必要</td> </tr> <tr> <td>やや固結した土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.1</u> m<sup>3</sup></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup></td> <td>積込みのみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) (略)</p> <p>2・3 (略)</p>	作業種類	作業内容	機種	摘 要	掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要	やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	〃	破碎岩	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ
	作業種類	作業内容	機種	摘 要																										
	掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第3次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要																										
		やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第3次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	〃																										
破碎岩		クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ																											
作業種類	作業内容	機種	摘 要																											
掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要																											
	やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	〃																											
	破碎岩	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ																											

		改正後	現 行																											
正	<p><b>1-6 ホイールローダ掘削積込み</b></p> <p>1 機種の選定 標準として使用する機種は次表を標準とするが、工事量、工期、現場条件を勘案して最も適した施工方法を選定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種類</th> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削積込み</td> <td>ルーズ、普通土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第2次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.2</u> m<sup>3</sup></td> <td>切土高3m以上は補助ブルドーザが必要</td> </tr> <tr> <td>やや固結した土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第2次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.2</u> m<sup>3</sup></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup></td> <td>積込みのみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) (略)</p> <p>2・3 (略)</p>	作業種類	作業内容	機種	摘 要	掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第2次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要	やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第2次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	〃	破碎岩	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ	<p><b>1-6 ホイールローダ掘削積込み</b></p> <p>1 機種の選定 標準として使用する機種は次表を標準とするが、工事量、工期、現場条件を勘案して最も適した施工方法を選定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種類</th> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削積込み</td> <td>ルーズ、普通土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.1</u> m<sup>3</sup></td> <td>切土高3m以上は補助ブルドーザが必要</td> </tr> <tr> <td>やや固結した土質の掘削</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b>] 山積 1.9~<u>2.1</u> m<sup>3</sup></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m<sup>3</sup></td> <td>積込みのみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) (略)</p> <p>2・3 (略)</p>	作業種類	作業内容	機種	摘 要	掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要	やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	〃	破碎岩	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ
	作業種類	作業内容	機種	摘 要																										
	掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第2次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要																										
		やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第2次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.2</u> m <sup>3</sup>	〃																										
破碎岩		クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ																											
作業種類	作業内容	機種	摘 要																											
掘削積込み	ルーズ、普通土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	切土高3m以上は補助ブルドーザが必要																											
	やや固結した土質の掘削	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup> ホイールローダ [普通・排出ガス対策型 <b>(第1次基準値)</b> ] 山積 1.9~ <u>2.1</u> m <sup>3</sup>	〃																											
	破碎岩	クローラローダ [普通型] 山積 1.8~1.9 m <sup>3</sup>	積込みのみ																											

		改 正 後		現 行						
誤	① 施工歩掛 加工の歩掛は、次表を標準とする。					(新設)				
	表3.1 加工歩掛 (1 t 当たり)									
			鉄筋径 (mm)							
			10~13	16~25	29~32		35	38	41	51
	名称	単位	規格	0.2	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1
	土木一般世話役	人		0.2	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1
	鉄筋工	人		2.3	1.7		1.2	1.1	1.0	0.8
	山林砂防工 (普通作業員)	人		0.2	0.2		0.1	0.1	0.1	0.1
	ラフテレーンクレーン 運転	日	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型 (2014年規制)最大吊上能力 25 t 吊	0.04	0.04		0.04	0.04	0.04	0.04
	諸雑費	%		12						
(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さを問わず、同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費、鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 5. フレア溶接を行う場合は、フレア溶接費用を別途計上する。 6. 諸雑費は鉄筋曲機・鉄筋切断機・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 鉄筋加工に伴う現場内小運搬を含む。										

		改 正 後		現 行						
正	① 施工歩掛 加工の歩掛は、次表を標準とする。					(新設)				
	表3.1 加工歩掛 (1 t 当たり)									
			鉄筋径 (mm)							
			10~13	16~25	29~32		35	38	41	51
	名称	単位	規格	0.2	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1
	土木一般世話役	人		0.2	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1
	鉄筋工	人		2.3	1.7		1.2	1.1	1.0	0.8
	山林砂防工 (普通作業員)	人		0.2	0.2		0.1	0.1	0.1	0.1
	ラフテレーンクレーン 運転	日	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型 (2014年規制)最大吊上能力 25 t 吊	0.04	0.04		0.04	0.04	0.04	0.04
	諸雑費	%		12						
(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さを問わず、同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費、鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 5. 諸雑費は鉄筋曲機・鉄筋切断機・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 6. 鉄筋加工に伴う現場内小運搬を含む。										

改正後				現行					
誤	<u>(5) 機械運転単価表</u>				(新設)				
	<u>機械名</u>	<u>規格</u>	<u>適用単価表</u>	<u>指定事項</u>					
	散水車	全機種	機-6	散水車使用の場合に計上					
	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t積級	機-7	ダンプトラック使用の場合に計上					
<u>表8.1 建設機械等損料算定表対象規格表</u>									
機種	真空式			ブラシ式					
	<u>リヤダンプ 6.0 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤ リフトダンプ 3.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤ リフトダンプ 5.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤダンプ 2.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤ リフトダンプ 2.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>フロント リフトダンプ 2.2 m<sup>3</sup>級</u>			
移動速度	<u>真空・リヤダン プ式ホッパ容量 5.5~6.5 m<sup>3</sup></u>	<u>真空・リヤリフ ト式ホッパ容量 3.5 m<sup>3</sup></u>	<u>真空・リヤリフ ト式ホッパ容量 5.5~6.5 m<sup>3</sup></u>	<u>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1 m<sup>3</sup></u>	<u>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1 m<sup>3</sup></u>	<u>ブラシ・三輪式 ホッパ容量2.2 m<sup>3</sup></u>			

改正後				現行					
正	<u>(5) 機械運転単価表</u>				(新設)				
	<u>機械名</u>	<u>規格</u>	<u>適用単価表</u>	<u>指定事項</u>					
	散水車	全機種	機-6	散水車使用の場合に計上					
	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t積級	機-7	ダンプトラック使用の場合に計上					
<u>表8.1 建設機械等損料算定表対象規格表</u>									
機種	真空式			ブラシ式					
	<u>リヤダンプ 6.0 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤ リフトダンプ 3.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤ リフトダンプ 5.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤダンプ 2.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>リヤ リフトダンプ 2.5 m<sup>3</sup>級</u>	<u>フロント リフトダンプ 2.2 m<sup>3</sup>級</u>			
移動速度	<u>真空・リヤダン プ式ホッパ容量 5.5~6.5 m<sup>3</sup></u>	<u>真空・リヤリフ ト式ホッパ容量 3.5 m<sup>3</sup></u>	<u>真空・リヤリフ ト式ホッパ容量 5.5~6.5 m<sup>3</sup></u>	<u>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5 m<sup>3</sup></u>	<u>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5 m<sup>3</sup></u>	<u>ブラシ・三輪式 ホッパ容量2.2 m<sup>3</sup></u>			

	改正後	現行																																																						
誤	<p>5-15 かご工(B) (1)～(3) (略) (4) 機種の選定 機種、規格は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狭隘で旋回範囲に制限がある場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上記以外の場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 単価表 1) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業内容	機種	規 格	単位	数量	狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1	上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1	機械名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1		バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1		<p>5-15 かご工(B) (1)～(3) (略) (4) 機種の選定 機種、規格は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狭隘で旋回範囲に制限がある場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上記以外の場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 単価表 1) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業内容	機種	規 格	単位	数量	狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1	上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1	機械名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1		バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1	
	作業内容	機種	規 格	単位	数量																																																			
	狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1																																																			
	上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1																																																			
	機械名	規 格	適用単価表	指定事項																																																				
バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						
バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						
作業内容	機種	規 格	単位	数量																																																				
狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1																																																				
上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1																																																				
機械名	規 格	適用単価表	指定事項																																																					
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						

	改正後	現行																																																						
正	<p>5-15 かご工(B) (1)～(3) (略) (4) 機種の選定 機種、規格は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狭隘で旋回範囲に制限がある場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上記以外の場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 単価表 1) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業内容	機種	規 格	単位	数量	狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1	上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1	機械名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1		バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1		<p>5-15 かご工(B) (1)～(3) (略) (4) 機種の選定 機種、規格は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>機種</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狭隘で旋回範囲に制限がある場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上記以外の場合</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 単価表 1) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業内容	機種	規 格	単位	数量	狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1	上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1	機械名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1		バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1	
	作業内容	機種	規 格	単位	数量																																																			
	狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1																																																			
	上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1																																																			
	機械名	規 格	適用単価表	指定事項																																																				
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						
バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						
作業内容	機種	規 格	単位	数量																																																				
狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	台	1																																																				
上記以外の場合	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	〃	1																																																				
機械名	規 格	適用単価表	指定事項																																																					
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	機-1																																																						

	改正後	現行																																																																																																																																										
誤	<p>5-16 かが枠工 (1)・(2) (略) (3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準) クローラ型 山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 かが枠工施工歩掛 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">鋼製かが枠工規格</th> <th colspan="4">幅 (cm)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th colspan="2">80</th> <th colspan="2">120</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詰石 (詰土)</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>3.80</td> <td>4.00</td> <td>5.70</td> <td>6.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.17</td> <td>0.36</td> <td>0.23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.29</td> <td>0.18</td> <td>0.39</td> <td>0.24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.87 (0.96)</td> <td>0.57 (0.71)</td> <td>1.23 (1.32)</td> <td>0.77 (0.90)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>h</td> <td>2.12</td> <td>1.92</td> <td>2.79</td> <td>2.51</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略)</p>	機種	規格	摘要	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )		鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要	名称	規格	単位	80		120		詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00		世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23		特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)		バックホウ運	排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51		諸雑费率		%	4	13	3	14		<p>5-16 かが枠工 (1)・(2) (略) (3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準) クローラ型 山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 かが枠工施工歩掛 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">鋼製かが枠工規格</th> <th colspan="4">幅 (cm)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th colspan="2">80</th> <th colspan="2">120</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詰石 (詰土)</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>3.80</td> <td>4.00</td> <td>5.70</td> <td>6.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.17</td> <td>0.36</td> <td>0.23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.29</td> <td>0.18</td> <td>0.39</td> <td>0.24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.87 (0.96)</td> <td>0.57 (0.71)</td> <td>1.23 (1.32)</td> <td>0.77 (0.90)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>h</td> <td>2.12</td> <td>1.92</td> <td>2.79</td> <td>2.51</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略)</p>	機種	規格	摘要	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )		鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要	名称	規格	単位	80		120		詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00		世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23		特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)		バックホウ運	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51		諸雑费率		%	4	13	3	14	
	機種	規格	摘要																																																																																																																																									
	バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )																																																																																																																																										
	鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要																																																																																																																																				
	名称	規格	単位	80		120																																																																																																																																						
	詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00																																																																																																																																					
	世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23																																																																																																																																					
	特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24																																																																																																																																					
	山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)																																																																																																																																					
	バックホウ運	排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51																																																																																																																																					
諸雑费率		%	4	13	3	14																																																																																																																																						
機種	規格	摘要																																																																																																																																										
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )																																																																																																																																											
鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要																																																																																																																																					
名称	規格	単位	80		120																																																																																																																																							
詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00																																																																																																																																						
世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23																																																																																																																																						
特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24																																																																																																																																						
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)																																																																																																																																						
バックホウ運	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51																																																																																																																																						
諸雑费率		%	4	13	3	14																																																																																																																																						

	改正後	現行																																																																																																																																										
正	<p>5-16 かが枠工 (1)・(2) (略) (3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準) クローラ型 山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 かが枠工施工歩掛 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">鋼製かが枠工規格</th> <th colspan="4">幅 (cm)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th colspan="2">80</th> <th colspan="2">120</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詰石 (詰土)</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>3.80</td> <td>4.00</td> <td>5.70</td> <td>6.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.17</td> <td>0.36</td> <td>0.23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.29</td> <td>0.18</td> <td>0.39</td> <td>0.24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.87 (0.96)</td> <td>0.57 (0.71)</td> <td>1.23 (1.32)</td> <td>0.77 (0.90)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>h</td> <td>2.12</td> <td>1.92</td> <td>2.79</td> <td>2.51</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略)</p>	機種	規格	摘要	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )		鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要	名称	規格	単位	80		120		詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00		世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23		特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)		バックホウ運	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51		諸雑费率		%	4	13	3	14		<p>5-16 かが枠工 (1)・(2) (略) (3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準) クローラ型 山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 かが枠工施工歩掛 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">鋼製かが枠工規格</th> <th colspan="4">幅 (cm)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th colspan="2">80</th> <th colspan="2">120</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詰石 (詰土)</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>3.80</td> <td>4.00</td> <td>5.70</td> <td>6.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.17</td> <td>0.36</td> <td>0.23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.29</td> <td>0.18</td> <td>0.39</td> <td>0.24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.87 (0.96)</td> <td>0.57 (0.71)</td> <td>1.23 (1.32)</td> <td>0.77 (0.90)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45 m<sup>3</sup>(平積0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>h</td> <td>2.12</td> <td>1.92</td> <td>2.79</td> <td>2.51</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略)</p>	機種	規格	摘要	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )		鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要	名称	規格	単位	80		120		詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00		世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23		特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)		バックホウ運	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51		諸雑费率		%	4	13	3	14	
	機種	規格	摘要																																																																																																																																									
	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )																																																																																																																																										
	鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要																																																																																																																																				
	名称	規格	単位	80		120																																																																																																																																						
	詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00																																																																																																																																					
	世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23																																																																																																																																					
	特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24																																																																																																																																					
	山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)																																																																																																																																					
	バックホウ運	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51																																																																																																																																					
諸雑费率		%	4	13	3	14																																																																																																																																						
機種	規格	摘要																																																																																																																																										
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準) クローラ型 山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )																																																																																																																																											
鋼製かが枠工規格			幅 (cm)				摘要																																																																																																																																					
名称	規格	単位	80		120																																																																																																																																							
詰石 (詰土)		m <sup>3</sup>	3.80	4.00	5.70	6.00																																																																																																																																						
世話役		人	0.26	0.17	0.36	0.23																																																																																																																																						
特殊作業員		〃	0.29	0.18	0.39	0.24																																																																																																																																						
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.87 (0.96)	0.57 (0.71)	1.23 (1.32)	0.77 (0.90)																																																																																																																																						
バックホウ運	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45 m <sup>3</sup> (平積0.35 m <sup>3</sup> )	h	2.12	1.92	2.79	2.51																																																																																																																																						
諸雑费率		%	4	13	3	14																																																																																																																																						

	改正後	現行																																																																																																								
誤	<p>5-17 大型ふとんかご工</p> <p>5-17-1 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (A)</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>) 2.9 t 吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 大型ふとんかご工 (A) 施工歩掛 (1 m<sup>3</sup>当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>) 2.9 t 吊</td> <td>h</td> <td>0.48</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略)</p> <p>5-17-2 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (B)</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 (第3次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 大型ふとんかご工 (B) 施工歩掛 (1 m<sup>3</sup>当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.47</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第3次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>h</td> <td>0.76</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略) (参考図) (略)</p>	機種	規格	摘要	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊		名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	0.04		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.31		バックホウ運転	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	h	0.48		機種	規格	摘要	バックホウ	排出ガス対策型 (第3次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )		名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	0.07		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.47		バックホウ運転	排出ガス対策型 (第3次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	h	0.76		<p>5-17 大型ふとんかご工</p> <p>5-17-1 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (A)</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>) 2.9 t 吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 大型ふとんかご工 (A) 施工歩掛 (1 m<sup>3</sup>当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>) 2.9 t 吊</td> <td>h</td> <td>0.48</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略)</p> <p>5-17-2 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (B)</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工歩掛 大型ふとんかご工 (B) 施工歩掛 (1 m<sup>3</sup>当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.47</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m<sup>3</sup> (平積 0.35 m<sup>3</sup>)</td> <td>h</td> <td>0.76</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 (略)</p> <p>(5)・(6) (略) (参考図) (略)</p>	機種	規格	摘要	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊		名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	0.04		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.31		バックホウ運転	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	h	0.48		機種	規格	摘要	バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )		名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	0.07		山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.47		バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	h	0.76	
	機種	規格	摘要																																																																																																							
	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊																																																																																																								
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																					
	世話役		人	0.04																																																																																																						
	山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.31																																																																																																						
	バックホウ運転	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	h	0.48																																																																																																						
	機種	規格	摘要																																																																																																							
	バックホウ	排出ガス対策型 (第3次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )																																																																																																								
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																					
世話役		人	0.07																																																																																																							
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.47																																																																																																							
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第3次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	h	0.76																																																																																																							
機種	規格	摘要																																																																																																								
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊																																																																																																									
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																						
世話役		人	0.04																																																																																																							
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.31																																																																																																							
バックホウ運転	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	h	0.48																																																																																																							
機種	規格	摘要																																																																																																								
バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )																																																																																																									
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																						
世話役		人	0.07																																																																																																							
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.47																																																																																																							
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	h	0.76																																																																																																							

5-17 大型ふとんかご工  
 5-17-1 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (A)  
 (1)・(2) (略)  
 (3) 機種の選定  
 機種・規格は、次表を標準とする。

機種	規格	摘要
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	

(4) 施工歩掛

大型ふとんかご工 (A) 施工歩掛

(1 m<sup>3</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.04	
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.31	
バックホウ運転	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	h	0.48	

備考 (略)

(5)・(6) (略)

5-17-2 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (B)

(1)・(2) (略)  
 (3) 機種の選定  
 機種・規格は、次表を標準とする。

機種	規格	摘要
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	

(4) 施工歩掛

大型ふとんかご工 (B) 施工歩掛

(1 m<sup>3</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.07	
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.47	
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	h	0.76	

備考 (略)

(5)・(6) (略)  
 (参考図) (略)

5-17 大型ふとんかご工  
 5-17-1 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (A)  
 (1)・(2) (略)  
 (3) 機種の選定  
 機種・規格は、次表を標準とする。

機種	規格	摘要
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	

(4) 施工歩掛

大型ふとんかご工 (A) 施工歩掛

(1 m<sup>3</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.04	
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.31	
バックホウ運転	クローラ型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> ) 2.9 t 吊	h	0.48	

備考 (略)

(5)・(6) (略)

5-17-2 (参考歩掛) 大型ふとんかご工 (B)

(1)・(2) (略)  
 (3) 機種の選定  
 機種・規格は、次表を標準とする。

機種	規格	摘要
バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	

(4) 施工歩掛

大型ふとんかご工 (B) 施工歩掛

(1 m<sup>3</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.07	
山林砂防工 (普通作業員)		〃	0.47	
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) ・クローラ型 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )	h	0.76	

備考 (略)

(5)・(6) (略)  
 (参考図) (略)

改正後				現行				
誤	(2) 機械運転単価表				(2) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 $\Phi$ 900~1,500 mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kw	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→ <u>18</u>	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500 mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kw	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→ <u>13</u>
	発動発電機	<u>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス規制対象外</u> <u>・定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA</u>	機-12	燃料消費量→ <u>340</u>	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 <u>60~65 t</u> 吊排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.19</u> 燃料消費量→ <u>16</u>	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65 t 吊排出ガス対策型 (第1次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.17</u> 燃料消費量→ <u>12</u>
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.19</u> 燃料消費量→18		油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.17</u> 燃料消費量→18	
バックホウ (クローラ型)	<u>後方超小旋回型・超低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5 m <sup>3</sup> (平積 0.4 m <sup>3</sup> )	機-1	運転労務数量→ <u>0.17</u> 燃料消費量→ <u>9.8</u>	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5 m <sup>3</sup> (平積 0.4 m <sup>3</sup> )	機-1	運転労務数量→ <u>0.16</u> 燃料消費量→ <u>9.2</u>	

改正後				現行				
正	(2) 機械運転単価表				(2) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 $\Phi$ 900~1,500 mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kw	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→ <u>18</u>	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500 mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kw	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→ <u>13</u>
	発動発電機	<u>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス規制対象外</u> <u>・定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA</u>	機-12	燃料消費量→ <u>340</u>	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 <u>70 t</u> 吊排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.19</u> 燃料消費量→ <u>16</u>	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 <u>60~65 t</u> 吊排出ガス対策型 (第1次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.17</u> 燃料消費量→ <u>12</u>
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.19</u> 燃料消費量→18		油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-1	運転労務数量→ <u>0.17</u> 燃料消費量→18	
バックホウ (クローラ型)	<u>後方超小旋回型・超低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5 m <sup>3</sup> (平積 0.4 m <sup>3</sup> )	機-1	運転労務数量→ <u>0.17</u> 燃料消費量→ <u>9.8</u>	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5 m <sup>3</sup> (平積 0.4 m <sup>3</sup> )	機-1	運転労務数量→ <u>0.16</u> 燃料消費量→ <u>9.2</u>	

	改正後	現行																																																																
誤	<p>8-11-1 バイプロハンマ工 1～3（略）</p> <p>4 単価表 (1)～(4)（略） (5) 機械運転単価表（水上施工）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）</td> <td>電動式・普通型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）</td> <td>電動式・可変モーメント型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式・排出ガス対策型（第3次基準値） ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→139 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船</td> <td>クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 （クローラクレーン） 機械損料単位→供用日 燃料消費量→169 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼製 200PS 型</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111（重油） 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	バイプロハンマ（単体）	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ（単体）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型（第3次基準値） ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31	クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 （クローラクレーン） 機械損料単位→供用日 燃料消費量→169 機械損料数量→1.31	引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111（重油） 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01	<p>8-11-1 バイプロハンマ工 1～3（略）</p> <p>4 単価表 (1)～(4)（略） (5) 機械運転単価表（水上施工）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）</td> <td>電動式・普通型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）</td> <td>電動式・可変モーメント型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式・排出ガス対策型（第3次基準値） ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→139 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船</td> <td>クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 （クローラクレーン） 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.31 （台船） 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼製 200PS 型</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111（重油） 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	バイプロハンマ（単体）	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ（単体）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型（第3次基準値） ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31	クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 （クローラクレーン） 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.31 （台船） 機械損料数量→1.31	引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111（重油） 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01
	機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																														
	バイプロハンマ（単体）	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																														
	バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																														
	バイプロハンマ（単体）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																														
	バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																														
	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型（第3次基準値） ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31																																																														
	クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 （クローラクレーン） 機械損料単位→供用日 燃料消費量→169 機械損料数量→1.31																																																														
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111（重油） 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01																																																															
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																															
バイプロハンマ（単体）	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																															
バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																															
バイプロハンマ（単体）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																															
バイプロハンマ（単体）（ハット形鋼矢板用）	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型（第3次基準値）・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																															
杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型（第3次基準値） ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31																																																															
クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 （クローラクレーン） 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.31 （台船） 機械損料数量→1.31																																																															
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111（重油） 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01																																																															

	改正後	現行																																																																
正	<p>8-11-1 バイプロハンマ工 1～3 (略)</p> <p>4 単価表 (1)～(4) (略) (5) 機械運転単価表 (水上施工)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイプロハンマ (単体)</td> <td>電動式・普通型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)</td> <td>電動式・可変モーメント型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ (単体)</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→139 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船</td> <td>クローラクレーン 45～50t吊 (削る。)</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→169 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼製 200PS 型</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	バイプロハンマ (単体)	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31	クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 (削る。)	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→169 機械損料数量→1.31	引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01	<p>8-11-1 バイプロハンマ工 1～3 (略)</p> <p>4 単価表 (1)～(4) (略) (5) 機械運転単価表 (水上施工)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイプロハンマ (単体)</td> <td>電動式・普通型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)</td> <td>電動式・可変モーメント型 60kW、90kW</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ (単体)</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)</td> <td>油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→397 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→139 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船</td> <td>クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.31 (台船) 機械損料数量→1.31</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼製 200PS 型</td> <td>機-11</td> <td>船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	バイプロハンマ (単体)	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31	バイプロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31	クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.31 (台船) 機械損料数量→1.31	引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01
	機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																														
	バイプロハンマ (単体)	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																														
	バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																														
	バイプロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																														
	バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																														
	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31																																																														
	クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 (削る。)	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→169 機械損料数量→1.31																																																														
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01																																																															
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																															
バイプロハンマ (単体)	電動式・普通型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																															
バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	電動式・可変モーメント型 60kW、90kW	機-25	機械損料数量→1.31																																																															
バイプロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																															
バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力 473kN・242kW	機-24	燃料消費量→397 機械損料数量→1.31																																																															
杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.31																																																															
クレーン付台船	クローラクレーン 45～50t吊 台船 300t積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.31 (台船) 機械損料数量→1.31																																																															
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01																																																															

	改正後	現行																																																																																		
誤	<p>8-11-2 パイプロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイプロハンマ</td> <td>15kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン （機械式）</td> <td>16t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要時のみ計上</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値）17/20kVA</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）（略）</p> <p>4・5（略）</p> <p>6 単価表</p> <p>（1）（略）</p> <p>（2）機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動式 パイプロハンマ 杭打機</td> <td>15kW</td> <td>機-5</td> <td>機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→<math>E \times 0.7</math> <math>E</math>→パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） <math>T</math>→パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） <math>TC</math>→矢板1枚当たり施工時間（分）</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値）17/20kVA</td> <td>機-12</td> <td>運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t型</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	パイプロハンマ	15kW	台	1		クローラクレーン （機械式）	16t吊	〃	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上	発動発電機	排出ガス対策型（第2次基準値）17/20kVA	〃	1	〃	機械名	規格	適用単価表	指定事項	電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）	発動発電機	排出ガス対策型（第2次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1		<p>8-11-2 パイプロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイプロハンマ</td> <td>15kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン （機械式）</td> <td>16t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要時のみ計上</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）（略）</p> <p>4・5（略）</p> <p>6 単価表</p> <p>（1）（略）</p> <p>（2）機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動式 パイプロハンマ 杭打機</td> <td>15kW</td> <td>機-5</td> <td>機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→<math>E \times 0.7</math> <math>E</math>→パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） <math>T</math>→パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） <math>TC</math>→矢板1枚当たり施工時間（分）</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA</td> <td>機-12</td> <td>運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t型</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	パイプロハンマ	15kW	台	1		クローラクレーン （機械式）	16t吊	〃	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上	発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	〃	1	〃	機械名	規格	適用単価表	指定事項	電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）	発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1	
	機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																															
	パイプロハンマ	15kW	台	1																																																																																
	クローラクレーン （機械式）	16t吊	〃	1																																																																																
	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上																																																																															
	発動発電機	排出ガス対策型（第2次基準値）17/20kVA	〃	1	〃																																																																															
	機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																
	電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）																																																																																
	発動発電機	排出ガス対策型（第2次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）																																																																																
	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1																																																																																	
機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																
パイプロハンマ	15kW	台	1																																																																																	
クローラクレーン （機械式）	16t吊	〃	1																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上																																																																																
発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	〃	1	〃																																																																																
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																	
電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）																																																																																	
発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1																																																																																		

	改正後	現行																																																																																						
正	<p>8-11-2 パイプロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイプロハンマ</td> <td>15kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）25t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要時のみ計上</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）17/20kVA</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）（略）</p> <p>4・5（略）</p> <p>6 単価表</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動式 パイプロハンマ 杭打機</td> <td>15kW</td> <td rowspan="2">機-5</td> <td rowspan="2">機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→<math>E \times 0.7</math> <math>E</math>→パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） <math>T</math>→パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） <math>TC</math>→矢板1枚当たり施工時間（分）</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）25t吊</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）17/20kVA</td> <td>機-12</td> <td>運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t型</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	パイプロハンマ	15kW	台	1		ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）25t吊	〃	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上	発動発電機	超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）17/20kVA	〃	1	〃	機械名	規格	適用単価表	指定事項	電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）25t吊	発動発電機	超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1		<p>8-11-2 パイプロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイプロハンマ</td> <td>15kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン （機械式）</td> <td>16t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要時のみ計上</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）（略）</p> <p>4・5（略）</p> <p>6 単価表</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動式 パイプロハンマ 杭打機</td> <td>15kW</td> <td rowspan="2">機-5</td> <td rowspan="2">機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→<math>E \times 0.7</math> <math>E</math>→パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） <math>T</math>→パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） <math>TC</math>→矢板1枚当たり施工時間（分）</td> </tr> <tr> <td>（新設）</td> <td>（新設）</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA</td> <td>機-12</td> <td>運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t型</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	パイプロハンマ	15kW	台	1		クローラクレーン （機械式）	16t吊	〃	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上	発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	〃	1	〃	機械名	規格	適用単価表	指定事項	電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）	（新設）	（新設）	発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1	
	機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																			
	パイプロハンマ	15kW	台	1																																																																																				
	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）25t吊	〃	1																																																																																				
	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上																																																																																			
	発動発電機	超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）17/20kVA	〃	1	〃																																																																																			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																				
	電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）																																																																																				
	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）25t吊																																																																																						
	発動発電機	超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）																																																																																				
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1																																																																																						
機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																				
パイプロハンマ	15kW	台	1																																																																																					
クローラクレーン （機械式）	16t吊	〃	1																																																																																					
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要時のみ計上																																																																																				
発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	〃	1	〃																																																																																				
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																					
電動式 パイプロハンマ 杭打機	15kW	機-5	機械損料1→パイプロハンマ15kW（商用電力を使用した場合は下記による） 電力量→ $E \times 0.7$ $E$ →パイプロハンマの時間当たり電力消費量（kWh） $T$ →パイプロハンマ運転日当たり運転時間（h） $TC$ →矢板1枚当たり施工時間（分）																																																																																					
（新設）	（新設）																																																																																							
発動発電機	排出ガス対策型（第1次基準値）17/20kVA	機-12	運転時間→パイプロハンマの運転日当たり運転時間（h）																																																																																					
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t型	機-1																																																																																						

		改正後				現行			
誤	4 単価表 (1)～(7) (略) (8) 機械運転単価表	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→128 機械損料数量→1.49		油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→128 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3次基準値)広 幅鋼矢板用 圧入力1,000kN 引抜力1,100kN	機-24	燃料消費量→146 機械損料数量→1.49		油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3次基準値)広 幅鋼矢板用 圧入力1,000kN 引抜力1,100kN	機-24	燃料消費量→146 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用 圧入力1,000kN 引抜力1,200kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49		油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用 圧入力1,000kN 引抜力1,200kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49
	油圧式杭圧入引抜機(鋼 矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49		油圧式杭圧入引抜機(鋼 矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板VL・VIL・Ⅱw ・Ⅲw・Ⅳw型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力800kN 引抜力1,000kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49		油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板VL・VIL・Ⅱw ・Ⅲw・Ⅳw型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力800kN 引抜力1,000kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板10H・25H型 用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガ ス対策型(2014年規制)ハット型鋼矢板900mm 用 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→201 機械損料数量→1.49		油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板10H・25H型 用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガ ス対策型(2014年規制)ハット型鋼矢板900mm 用 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→201 機械損料数量→1.49
	杭打ち用ウォータジェ ット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力14.7MPa 吐出量3250/min	機-24	燃料消費量→134 機械損料数量→1.49		杭打ち用ウォータジェ ット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力14.7MPa 吐出量3250/min	機-24	燃料消費量→134 機械損料数量→1.49
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.49		ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.49
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2011年規制)50～51t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→128 機械損料数量→1.49		ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2011年規制)50～51t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→128 機械損料数量→1.49
クレーン付台船	(クローラクレーン) 35～40t吊 (台船) 300t積	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→146 機械損料数量→1.49 機械損料単位→供用日		クレーン付台船	(クローラクレーン) 35～40t吊 (台船) 300t積	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→43 機械損料数量→1.49 機械損料単位→供用日 (台船) 機械損料数量→1.49	
引船	鋼製D100PS型 4.9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→1.22 機械損料単位→供用日		引船	鋼製D100PS型 4.9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→1.22 機械損料単位→供用日	

		改正後		現行				
正	4 単価表 (1)～(7) (略) (8) 機械運転単価表	4 単価表 (1)～(7) (略) (8) 機械運転単価表						
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→128 機械損料数量→1.49	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→128 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3次基準値)広 幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN	機-24	燃料消費量→146 機械損料数量→1.49	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3次基準値)広 幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN	機-24	燃料消費量→146 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板 900mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,200kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49	油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板 900mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,200kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49
	油圧式杭圧入引抜機(鋼 矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49	油圧式杭圧入引抜機(鋼 矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板VL・VIL・Ⅱw ・Ⅲw・Ⅳw型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 1,000kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49	油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板VL・VIL・Ⅱw ・Ⅲw・Ⅳw型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 1,000kN	機-24	燃料消費量→171 機械損料数量→1.49
	油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板 10H・25H型 用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガ ス対策型(2014年規制)ハット型鋼矢板 900mm 用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→201 機械損料数量→1.49	油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板 10H・25H型 用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガ ス対策型(2014年規制)ハット型鋼矢板 900mm 用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→201 機械損料数量→1.49
	杭打ち用ウォータジェ ット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→134 機械損料数量→1.49	杭打ち用ウォータジェ ット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→134 機械損料数量→1.49
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.49	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.49
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2011年規制)50～51t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→128 機械損料数量→1.49	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2011年規制)50～51t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→128 機械損料数量→1.49	
クレーン付台船	(クローラクレーン) 35～40t吊 (削る。) (削る。)	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→146 機械損料数量→1.49 機械損料単位→供用日	クレーン付台船	(クローラクレーン) 35～40t吊 (台船) 300t積	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→43 機械損料数量→1.49 機械損料単位→供用日 (台船) 機械損料数量→1.49	
引船	鋼製 D100PS 型 4.9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→1.22 機械損料単位→供用日	引船	鋼製 D100PS 型 4.9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→1.22 機械損料単位→供用日	

	改正後					現行				
	名称	規格	単位	数量	摘要	名称	規格	単位	数量	摘要
誤	(6) パイプロハンマとウォータジェット併用施工によるH形鋼の打込み10本当たり単価表(H形鋼打込長〇〇m)									
	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4.9~4.14	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4.9 表 4.10~4.12
	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$ (3)	〃	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃 〃
	特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
	山林砂防工 (普通作業員)		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	山林砂防工 (普通作業員)		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
	パイプロハンマ杭打機運 転		日	$\frac{10}{N}$	表 4.5、表 4.8 表 4.10~4.14、機械損料	パイプロハンマ杭打機運 転		日	$\frac{10}{N}$	表 4.5、表 4.8 〃、機械損料
	杭打ち用ウォータジェッ ト運転	エンジン式排出ガス 対策型 (第2次基準 値) 14.7MPa3250/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	表 4.5 表 4.10~4.14、機械損料	杭打ち用ウォータジェッ ト運転	エンジン式排出ガス 対策型 (第1次基準 値) 14.7MPa3250/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	表 4.5 〃、機械損料
	継施工費		箇所	10	(必要に応じて計上)	(新設)		(新 設)	(新設)	(新設)
諸雑費		式	1	表 4.15	諸雑費		式	1	表 4.13	
計					計					
	(注) N：日当たり施工本数(本/日) ( ) 書き：継施工有りの場合に適用する。					(注) N：日当たり施工本数(本/日) (新設)				

	改正後					現行				
	名称	規格	単位	数量	摘要	名称	規格	単位	数量	摘要
正	(6) パイプロハンマとウォータジェット併用施工によるH形鋼の打込み10本当たり単価表(H形鋼打込長〇〇m)									
	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4.9~4.14	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4.9 表 4.10~4.12
	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$ (3)	〃	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃 〃
	特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
	山林砂防工 (普通作業員)		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	山林砂防工 (普通作業員)		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
	パイプロハンマ杭打機運 転		日	$\frac{10}{N}$	表 4.5、表 4.8 表 4.10~4.14、機械損料	パイプロハンマ杭打機運 転		日	$\frac{10}{N}$	表 4.5、表 4.8 〃、機械損料
	杭打ち用ウォータジェッ ト運転	エンジン式排出ガス 対策型 (第3次基準 値) 14.7MPa3250/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	表 4.5 表 4.10~4.14、機械損料	杭打ち用ウォータジェッ ト運転	エンジン式排出ガス 対策型 (第1次基準 値) 14.7MPa3250/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	表 4.5 〃、機械損料
	継施工費		箇所	10	(必要に応じて計上)	(新設)		(新 設)	(新設)	(新設)
諸雑費		式	1	表 4.15	諸雑費		式	1	表 4.13	
計					計					
	(注) N：日当たり施工本数(本/日) ( ) 書き：継施工有りの場合に適用する。					(注) N：日当たり施工本数(本/日) (新設)				

改 正 後				現 行				
誤	(5) 機械運転単価表				(5) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	濁水処理装置 [ポータブル型 ・機械処理沈殿 方式]	処理能力 30 m3/h	機-30	( <u>常時処理</u> ) 電力消費量→202 機械賃料数量→1.00	処理能力 30 m3/h	機-14	(新設)	
				( <u>作業時処理</u> ) 電力消費量→67 機械賃料数量→1.00			電力消費量→45 (新設)	
		処理能力 40 m3/h	機-30	( <u>常時処理</u> ) 電力消費量→264 機械賃料数量→1.00	処理能力 40 m3/h	機-14	(新設)	
				( <u>作業時処理</u> ) 電力消費量→88 機械賃料数量→1.40			電力消費量→88 (新設)	
		処理能力 60 m3/h	機-30	( <u>常時処理</u> ) 電力消費量→312 機械賃料数量→1.00	処理能力 60 m3/h	機-14	(新設)	
				( <u>作業時処理</u> ) 電力消費量→104 機械賃料数量→1.40			電力消費量→104(新 設)	
		(削る。)	(削る。)	(削る。)	処理能力 100 m3/h	機-14	電力消費量→112	

改 正 後				現 行				
正	(5) 機械運転単価表				(5) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	濁水処理装置 [ポータブル型 ・機械処理沈殿 方式]	処理能力 30 m3/h	機-30	( <u>常時処理</u> ) 電力消費量→202 機械賃料数量→1.00	処理能力 30 m3/h	機-14	(新設)	
				( <u>作業時処理</u> ) 電力消費量→67 機械賃料数量→1.40			電力消費量→45 (新設)	
		処理能力 40 m3/h	機-30	( <u>常時処理</u> ) 電力消費量→264 機械賃料数量→1.00	処理能力 40 m3/h	機-14	(新設)	
				( <u>作業時処理</u> ) 電力消費量→88 機械賃料数量→1.40			電力消費量→88 (新設)	
		処理能力 60 m3/h	機-30	( <u>常時処理</u> ) 電力消費量→312 機械賃料数量→1.00	処理能力 60 m3/h	機-14	(新設)	
				( <u>作業時処理</u> ) 電力消費量→104 機械賃料数量→1.40			電力消費量→104(新 設)	
		(削る。)	(削る。)	(削る。)	処理能力 100 m3/h	機-14	電力消費量→112	

	改正後	現行
誤	<p><b>8-20 砂防土砂仮締切・砂防大型土のう仮締切</b></p> <p>1. 適用範囲 本資料は、山林砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の施工に伴う現地土砂を用いた土砂及び大型土のうによる仮締切工に適用する。</p>	(新設)

	改正後	現行
正	<p><b>8-19 砂防土砂仮締切・砂防大型土のう仮締切</b></p> <p>1. 適用範囲 本資料は、山林砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の施工に伴う現地土砂を用いた土砂及び大型土のうによる仮締切工に適用する。</p>	(新設)

	改正後	現行																														
誤	<p>(3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p>機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5m<sup>3</sup>(平積0.4m<sup>3</sup>)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	台	1		不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t級	台	1	必要に応じて計上	<p>(3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p>機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>(新設)</th> <th>台数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m<sup>3</sup>(平積0.4m<sup>3</sup>)</td> <td>(新設)</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	(新設)	台数	摘要	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	(新設)	1		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
機械名	規格	単位	数量	摘要																												
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	台	1																													
不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t級	台	1	必要に応じて計上																												
機械名	規格	(新設)	台数	摘要																												
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	(新設)	1																													
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)																												

	改正後	現行																																								
正	<p>(3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p>1) ジャかご 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m<sup>3</sup>(平積0.4m<sup>3</sup>)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) ふとんかご 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5m<sup>3</sup>(平積0.4m<sup>3</sup>)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	台	1		機械名	規格	単位	数量	摘要	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	台	1		不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t級	台	1	必要に応じて計上	<p>(3) 機種選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>(新設)</th> <th>台数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m<sup>3</sup>(平積0.4m<sup>3</sup>)</td> <td>(新設)</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	(新設)	台数	摘要	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	(新設)	1		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
機械名	規格	単位	数量	摘要																																						
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	台	1																																							
機械名	規格	単位	数量	摘要																																						
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	台	1																																							
不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t級	台	1	必要に応じて計上																																						
機械名	規格	(新設)	台数	摘要																																						
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )	(新設)	1																																							
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)																																						

		改 正 後				現 行			
誤	4) 機械運転単価表	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
		バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5 m <sup>3</sup> (平積0.4 m <sup>3</sup> )	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→64 機械賃料数量→1.50	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5 m <sup>3</sup> (平積0.4 m <sup>3</sup> )	機-1	(新設) (新設) (新設)
		不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.4 機械賃料数量→1.71	(新設)	(新設)	(新設)	(新設) (新設) (新設)

		改 正 後				現 行			
正	4) 機械運転単価表	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
		バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5 m <sup>3</sup> (平積0.4 m <sup>3</sup> )	機-1		バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5 m <sup>3</sup> (平積0.4 m <sup>3</sup> )	機-1	
		バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.5 m <sup>3</sup> (平積0.4 m <sup>3</sup> )	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→64 機械賃料数量→1.50	(新設)	(新設)	(新設)	(新設) (新設) (新設)
		不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値)2t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.4 機械賃料数量→1.71	(新設)	(新設)	(新設)	(新設) (新設) (新設)

	改正後	現行
誤	<p>3-1 鋼橋製作工</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 鋼橋製作費</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 製作工労務単価 工場製作における工数単価(直接労務費)は <u>32,700円</u>とする。</p> <p>4~9 (略)</p>	<p>3-1 鋼橋製作工</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 鋼橋製作費</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 製作工労務単価 工場製作における工数単価(直接労務費)は <u>31,200円</u>とする。</p> <p>4~9 (略)</p>

	改正後	現行																																																																																																																																																												
正	<p>3-1 鋼橋製作工</p> <p>1 (略)</p> <p>2 材料費</p> <p>(1)~(7) (略)</p> <p>(8) 溶接材料費及び副資材費</p> <p>① (略)</p> <p>② 副資材費 副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当たり溶接材料込みで <u>19,700円/t</u>とする。 (注) 1・2 (略)</p> <p>3 鋼橋製作費</p> <p>(1) 製作工数</p> <p>① 橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。 ア~カ (略)</p> <p>キ 付属物製作工数(Y5)</p> $Y5 = D \times d \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) + E \times e \times (1 + \beta) + F \times f \times (1 + \beta) + G \times g \times (1 + \alpha)$ <p>D: 伸縮継手の加工鋼重 d: 伸縮継手の標準工数(表 3.13) E: 高欄の加工鋼重 e: 高欄の標準工数(表 3.14) F: 橋梁用防護柵の加工鋼重 f: 橋梁用防護柵の標準工数(表 3.15) G: 検査路の加工鋼重 g: 検査路の標準工数(表 3.16) α: 重連による補正率(表 3.8) β: 斜橋又は曲線橋による補正率(表 3.9 又は表 3.10) ただし、斜橋と曲線橋の補正の重加算は行わず、いずれか大きい方の補正率を採用する。</p> <p>表 3.1 橋梁形式別標準工数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式 \ 要素</th> <th>a1 (人/個)</th> <th>a2 (人/個)</th> <th>b1 (人/10m)</th> <th>b2 (人/10m)</th> <th>c (人/個)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>単純鉄桁</td><td>1.48</td><td>0.32</td><td>0.94</td><td>0.39</td><td>0.43</td></tr> <tr><td>連続鉄桁</td><td>1.47</td><td>0.23</td><td>0.78</td><td>0.37</td><td>0.38</td></tr> <tr><td>箱桁</td><td>2.25</td><td>0.31</td><td>0.87</td><td>0.37</td><td>3.09</td></tr> <tr><td>鋼床版鉄桁</td><td>1.24</td><td>0.25</td><td>0.92</td><td>0.62</td><td>4.17</td></tr> <tr><td>鋼床版箱桁</td><td>3.78</td><td>0.33</td><td>1.03</td><td>0.53</td><td>6.24</td></tr> <tr><td>トラス</td><td>0.56</td><td>0.33</td><td>0.75</td><td>0.32</td><td>0.93</td></tr> <tr><td>アーチ</td><td>1.59</td><td>0.41</td><td>0.93</td><td>0.55</td><td>2.70</td></tr> <tr><td>ラーメン</td><td>1.98</td><td>0.40</td><td>0.80</td><td>0.57</td><td>3.26</td></tr> <tr><td>角型鋼橋脚</td><td>4.09</td><td>0.70</td><td>1.69</td><td>3.30</td><td>10.66</td></tr> <tr><td>丸型鋼橋脚</td><td>6.76</td><td>0.57</td><td>0.32</td><td>0.86</td><td>8.20</td></tr> <tr><td>角型アンカーフレーム</td><td>—</td><td>0.35</td><td>—</td><td>—</td><td>13.84</td></tr> <tr><td>丸型アンカーフレーム</td><td>—</td><td>0.19</td><td>—</td><td>—</td><td>5.57</td></tr> </tbody> </table> <p>表 3.2~表 3.7 (略)</p> <p>② (略)</p> <p>(2) 製作工労務単価 工場製作における工数単価(直接労務費)は <u>32,700円</u>とする。</p>	形式 \ 要素	a1 (人/個)	a2 (人/個)	b1 (人/10m)	b2 (人/10m)	c (人/個)	単純鉄桁	1.48	0.32	0.94	0.39	0.43	連続鉄桁	1.47	0.23	0.78	0.37	0.38	箱桁	2.25	0.31	0.87	0.37	3.09	鋼床版鉄桁	1.24	0.25	0.92	0.62	4.17	鋼床版箱桁	3.78	0.33	1.03	0.53	6.24	トラス	0.56	0.33	0.75	0.32	0.93	アーチ	1.59	0.41	0.93	0.55	2.70	ラーメン	1.98	0.40	0.80	0.57	3.26	角型鋼橋脚	4.09	0.70	1.69	3.30	10.66	丸型鋼橋脚	6.76	0.57	0.32	0.86	8.20	角型アンカーフレーム	—	0.35	—	—	13.84	丸型アンカーフレーム	—	0.19	—	—	5.57	<p>3-1 鋼橋製作工</p> <p>1 (略)</p> <p>2 材料費</p> <p>(1)~(7) (略)</p> <p>(8) 溶接材料費及び副資材費</p> <p>① (略)</p> <p>② 副資材費 副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当たり溶接材料込みで <u>18,200円/t</u>とする。 (注) 1・2 (略)</p> <p>3 鋼橋製作費</p> <p>(1) 製作工数</p> <p>① 橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。 ア~カ (略)</p> <p>キ 付属物製作工数(Y5)</p> $Y5 = D \times d \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) + E \times e \times (1 + \beta) + F \times f \times (1 + \beta) + G \times g \times (1 + \alpha)$ <p>D: 伸縮継手の加工鋼重 d: 伸縮継手の標準工数(表 3.13) E: 高欄の加工鋼重 e: 高欄の標準工数(表 3.14) F: 橋梁用防護柵の加工鋼重 f: 橋梁用防護柵の標準工数(表 3.15) G: 検査路の加工鋼重 g: 検査路の標準工数(表 3.16) α: 重連による補正率(表 3.8) β: 斜橋又は曲線橋による補正率(表 3.9 又は表 3.10) ただし、斜橋と曲線橋の補正の重加算は行わず、いずれか大きい方の補正率を採用する。</p> <p>表 3.1 橋梁形式別標準工数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式 \ 要素</th> <th>a1 (人/個)</th> <th>a2 (人/個)</th> <th>b1 (人/10m)</th> <th>b2 (人/10m)</th> <th>c (人/個)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>単純鉄桁</td><td>1.48</td><td>0.32</td><td>0.94</td><td>0.39</td><td>0.43</td></tr> <tr><td>連続鉄桁</td><td>1.47</td><td>0.23</td><td>0.78</td><td>0.37</td><td>0.38</td></tr> <tr><td>箱桁</td><td>2.25</td><td>0.31</td><td>0.87</td><td>0.37</td><td>3.09</td></tr> <tr><td>鋼床版鉄桁</td><td>1.24</td><td>0.25</td><td>0.92</td><td>0.62</td><td>4.17</td></tr> <tr><td>鋼床版箱桁</td><td>3.78</td><td>0.33</td><td>1.03</td><td>0.53</td><td>6.24</td></tr> <tr><td>トラス</td><td>0.56</td><td>0.33</td><td>0.75</td><td>0.32</td><td>0.79</td></tr> <tr><td>アーチ</td><td>1.59</td><td>0.41</td><td>0.93</td><td>0.55</td><td>2.70</td></tr> <tr><td>ラーメン</td><td>1.98</td><td>0.40</td><td>0.80</td><td>0.57</td><td>3.26</td></tr> <tr><td>角型鋼橋脚</td><td>4.09</td><td>0.70</td><td>1.69</td><td>3.30</td><td>10.66</td></tr> <tr><td>丸型鋼橋脚</td><td>6.76</td><td>0.57</td><td>0.32</td><td>0.86</td><td>8.20</td></tr> <tr><td>角型アンカーフレーム</td><td>—</td><td>0.35</td><td>—</td><td>—</td><td>13.84</td></tr> <tr><td>丸型アンカーフレーム</td><td>—</td><td>0.19</td><td>—</td><td>—</td><td>5.57</td></tr> </tbody> </table> <p>表 3.2~表 3.7 (略)</p> <p>② (略)</p> <p>(2) 製作工労務単価 工場製作における工数単価(直接労務費)は <u>31,200円</u>とする。</p>	形式 \ 要素	a1 (人/個)	a2 (人/個)	b1 (人/10m)	b2 (人/10m)	c (人/個)	単純鉄桁	1.48	0.32	0.94	0.39	0.43	連続鉄桁	1.47	0.23	0.78	0.37	0.38	箱桁	2.25	0.31	0.87	0.37	3.09	鋼床版鉄桁	1.24	0.25	0.92	0.62	4.17	鋼床版箱桁	3.78	0.33	1.03	0.53	6.24	トラス	0.56	0.33	0.75	0.32	0.79	アーチ	1.59	0.41	0.93	0.55	2.70	ラーメン	1.98	0.40	0.80	0.57	3.26	角型鋼橋脚	4.09	0.70	1.69	3.30	10.66	丸型鋼橋脚	6.76	0.57	0.32	0.86	8.20	角型アンカーフレーム	—	0.35	—	—	13.84	丸型アンカーフレーム	—	0.19	—	—	5.57
	形式 \ 要素	a1 (人/個)	a2 (人/個)	b1 (人/10m)	b2 (人/10m)	c (人/個)																																																																																																																																																								
単純鉄桁	1.48	0.32	0.94	0.39	0.43																																																																																																																																																									
連続鉄桁	1.47	0.23	0.78	0.37	0.38																																																																																																																																																									
箱桁	2.25	0.31	0.87	0.37	3.09																																																																																																																																																									
鋼床版鉄桁	1.24	0.25	0.92	0.62	4.17																																																																																																																																																									
鋼床版箱桁	3.78	0.33	1.03	0.53	6.24																																																																																																																																																									
トラス	0.56	0.33	0.75	0.32	0.93																																																																																																																																																									
アーチ	1.59	0.41	0.93	0.55	2.70																																																																																																																																																									
ラーメン	1.98	0.40	0.80	0.57	3.26																																																																																																																																																									
角型鋼橋脚	4.09	0.70	1.69	3.30	10.66																																																																																																																																																									
丸型鋼橋脚	6.76	0.57	0.32	0.86	8.20																																																																																																																																																									
角型アンカーフレーム	—	0.35	—	—	13.84																																																																																																																																																									
丸型アンカーフレーム	—	0.19	—	—	5.57																																																																																																																																																									
形式 \ 要素	a1 (人/個)	a2 (人/個)	b1 (人/10m)	b2 (人/10m)	c (人/個)																																																																																																																																																									
単純鉄桁	1.48	0.32	0.94	0.39	0.43																																																																																																																																																									
連続鉄桁	1.47	0.23	0.78	0.37	0.38																																																																																																																																																									
箱桁	2.25	0.31	0.87	0.37	3.09																																																																																																																																																									
鋼床版鉄桁	1.24	0.25	0.92	0.62	4.17																																																																																																																																																									
鋼床版箱桁	3.78	0.33	1.03	0.53	6.24																																																																																																																																																									
トラス	0.56	0.33	0.75	0.32	0.79																																																																																																																																																									
アーチ	1.59	0.41	0.93	0.55	2.70																																																																																																																																																									
ラーメン	1.98	0.40	0.80	0.57	3.26																																																																																																																																																									
角型鋼橋脚	4.09	0.70	1.69	3.30	10.66																																																																																																																																																									
丸型鋼橋脚	6.76	0.57	0.32	0.86	8.20																																																																																																																																																									
角型アンカーフレーム	—	0.35	—	—	13.84																																																																																																																																																									
丸型アンカーフレーム	—	0.19	—	—	5.57																																																																																																																																																									

4 桁輸送費

- (1) (略)  
(2) 輸送費

輸送費の積算は、各橋種ごとに表4.2鋼橋工場製作輸送費に示す回帰式を用いて積算するものとする。

表4. 2鋼橋工場製作輸送費（沖縄を除く。）

橋種	輸送単価 (円/t)
鋼桁（鋼床版鋼桁を除く。）	$Y = 35.07X + 13,051$
鋼桁（鋼床版鋼桁のみ）	$Y = 51.35X + 10,138$
箱桁（鋼床版箱桁を除く。）	$Y = 29.94X + 12,939$
箱桁（鋼床版箱桁のみ）	$Y = 23.93X + 16,437$
トラス、アーチ、ラーメン	$Y = 24.95X + 14,523$
橋脚	$Y = 23.44X + 15,721$
アンカーフレーム	$Y = 24.01X + 11,384$

Y：輸送単価（円/t） X：運搬距離（km）

5～9 (略)

4 桁輸送費

- (1) (略)  
(2) 輸送費

輸送費の積算は、各橋種ごとに表4.2鋼橋工場製作輸送費に示す回帰式を用いて積算するものとする。

表4. 2鋼橋工場製作輸送費（沖縄を除く。）

橋種	輸送単価 (円/t)
鋼桁（鋼床版鋼桁を除く。）	$Y = 35.07X + 13,051$
鋼桁（鋼床版鋼桁のみ）	$Y = 33.11X + 14,686$
箱桁（鋼床版箱桁を除く。）	$Y = 29.94X + 12,939$
箱桁（鋼床版箱桁のみ）	$Y = 23.93X + 16,437$
トラス、アーチ、ラーメン	$Y = 24.95X + 14,523$
橋脚	$Y = 23.44X + 15,721$
アンカーフレーム	$Y = 24.01X + 11,384$

Y：輸送単価（円/t） X：運搬距離（km）

5～9 (略)

第3編 林道 第3 橋梁工

3-4 鋼橋架設工

(3) 機種の選定 6) 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量

	改正後	現 行																																																				
誤	<p>6) 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量は、次表を標準とする。これにより難しい場合は、積上げて算出してもよい。</p> <p style="text-align: center;">仮締ボルト及びドリフトピンの数量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>本締めボルト規格</th> <th>穴 径</th> <th>100本当たりの損料 (円/共用日)</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">仮締ボルト</td> <td>φ22mm用</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>53</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×2/3</td> </tr> <tr> <td>φ19mm用</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ドリフトピン</td> <td>φ24.5×150mm</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>別途</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×1/3</td> </tr> <tr> <td>φ21.5×150mm</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>別途</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注) 仮締めボルト及びドリフトピンの数量は、小数第1位を四捨五入し、整数止めとする。</u></p>	名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量	仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	53	本締めボルト総本数× 1/3×2/3	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	29	ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途	<p>6) 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量は、次表を標準とする。これにより難しい場合は、積上げて算出してもよい。</p> <p style="text-align: center;">仮締ボルト及びドリフトピンの数量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>本締めボルト規格</th> <th>穴 径</th> <th>100本当たりの損料 (円/共用日)</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">仮締ボルト</td> <td>φ22mm用</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>48</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×2/3</td> </tr> <tr> <td>φ19mm用</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ドリフトピン</td> <td>φ24.5×150mm</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>別途</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×1/3</td> </tr> <tr> <td>φ21.5×150mm</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>別途</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新設)</p>	名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量	仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	48	本締めボルト総本数× 1/3×2/3	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	24	ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途
	名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量																																																
仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	53	本締めボルト総本数× 1/3×2/3																																																	
	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	29																																																		
ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3																																																	
	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途																																																		
名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量																																																	
仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	48	本締めボルト総本数× 1/3×2/3																																																	
	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	24																																																		
ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3																																																	
	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途																																																		

	改正後	現 行																																																				
正	<p>6) 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量は、次表を標準とする。これにより難しい場合は、積上げて算出してもよい。</p> <p style="text-align: center;">仮締ボルト及びドリフトピンの数量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>本締めボルト規格</th> <th>穴 径</th> <th>100本当たりの損料 (円/共用日)</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">仮締ボルト</td> <td>φ22mm用</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>58</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×2/3</td> </tr> <tr> <td>φ19mm用</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ドリフトピン</td> <td>φ24.5×150mm</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>別途</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×1/3</td> </tr> <tr> <td>φ21.5×150mm</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>別途</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注) 仮締めボルト及びドリフトピンの数量は、小数第1位を四捨五入し、整数止めとする。</u></p>	名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量	仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	58	本締めボルト総本数× 1/3×2/3	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	29	ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途	<p>6) 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量 仮締ボルト及びドリフトピンの規格及び数量は、次表を標準とする。これにより難しい場合は、積上げて算出してもよい。</p> <p style="text-align: center;">仮締ボルト及びドリフトピンの数量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>本締めボルト規格</th> <th>穴 径</th> <th>100本当たりの損料 (円/共用日)</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">仮締ボルト</td> <td>φ22mm用</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>48</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×2/3</td> </tr> <tr> <td>φ19mm用</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ドリフトピン</td> <td>φ24.5×150mm</td> <td>M22</td> <td>Φ24.5mm</td> <td>別途</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数× 1/3×1/3</td> </tr> <tr> <td>φ21.5×150mm</td> <td>M19</td> <td>Φ21.5mm</td> <td>別途</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新設)</p>	名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量	仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	48	本締めボルト総本数× 1/3×2/3	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	24	ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途
	名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量																																																
仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	58	本締めボルト総本数× 1/3×2/3																																																	
	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	29																																																		
ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3																																																	
	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途																																																		
名 称	規 格	本締めボルト規格	穴 径	100本当たりの損料 (円/共用日)	数 量																																																	
仮締ボルト	φ22mm用	M22	Φ24.5mm	48	本締めボルト総本数× 1/3×2/3																																																	
	φ19mm用	M19	Φ21.5mm	24																																																		
ドリフトピン	φ24.5×150mm	M22	Φ24.5mm	別途	本締めボルト総本数× 1/3×1/3																																																	
	φ21.5×150mm	M19	Φ21.5mm	別途																																																		

第3編 林道 第3 橋梁工

3-5 PC桁架設工

3 トラッククレーンによる架設歩掛 (3) 重量台車による桁小運搬 ④ 機械器具損料

	改正後	現 行
誤	<p>④ 機械器具損料 横取り引出し設備、軌道設備 (重量 37 kg/m)、架設工具については、「建設機械等損料算定表 (鋼橋・PC 橋架設用仮設備機器)」により供用日当たり損料を計上する。 供用日数は次式により求める。 供用日数=現場内小運搬日数×供用日数率 <u>・・・式 3. 1</u> (注) 供用日数率=1.7 架設工具は、供用日当たり <b>5,720 円</b> 計上する。</p>	<p>④ 機械器具損料 横取り引出し設備、軌道設備 (30 kg/m)、架設工具については、「建設機械等損料算定表 (鋼橋・PC 橋架設用仮設備機器)」により供用日当たり損料を計上する。 供用日数は次式により求める。 供用日数=現場内小運搬日数×供用日数率 (注) 供用日数率=1.7 架設工具は、供用日当たり <u>5,470 円</u> 計上する。</p>

	改正後	現 行
正	<p>④ 機械器具損料 横取り引出し設備、軌道設備 (重量 37 kg/m)、架設工具については、「建設機械等損料算定表 (鋼橋・PC 橋架設用仮設備機器)」により供用日当たり損料を計上する。 供用日数は次式により求める。 供用日数=現場内小運搬日数×供用日数率 <u>・・・式 3. 1</u> (注) 供用日数率=1.7 架設工具は、供用日当たり <b>6,320 円</b> 計上する。</p>	<p>④ 機械器具損料 横取り引出し設備、軌道設備 (30 kg/m)、架設工具については、「建設機械等損料算定表 (鋼橋・PC 橋架設用仮設備機器)」により供用日当たり損料を計上する。 供用日数は次式により求める。 供用日数=現場内小運搬日数×供用日数率 (注) 供用日数率=1.7 架設工具は、供用日当たり <u>5,470 円</u> 計上する。</p>

第3編 林道 第3 橋梁工

3-5 PC桁架設工

5 横組工 (5) 足場工及び防護工 ① 足場工 ウ 橋台・橋脚回り足場ブラケット工

	改正後	現 行
誤	<p>ウ 橋台・橋脚回り足場ブラケット工 橋台・橋脚回り足場ブラケット工の足場工費は、次式による。 足場工費 (円) = <math>(12.68 \times \alpha) + (4.76 \times \beta) X + 0.41y \times L</math> <u><math>\alpha</math> : 主要部材の基本料 (合板足場板 0.24m×4m 1枚、足場パイプ <math>\Phi 48.6 \times 1\text{m}</math> 1本)</u> <u><math>\beta</math> : 主要部材の月当たり賃料 (合板足場板 0.24m×4m 1枚、足場パイプ <math>\Phi 48.6 \times 1\text{m}</math> 1本)</u>  X : <u>足場ブラケットを供用</u>している月数(月) <u>足場ブラケットの設置月数は、2箇月(PCコンボ橋 2.5箇月)を標準とする。</u> y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) L : 足場総延長 (m) 足場延長は下式による。 1 橋脚当たり足場延長(m) = (橋脚幅+橋脚長) × 2 1 橋台当たり足場延長(m) = 橋台幅+橋台長 × 2  <u>(注) yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。</u></p>	<p>ウ 橋台・橋脚回り足場ブラケット工 橋台・橋脚回り足場ブラケット工の足場工費は、次式による。 足場工費 = <math>(1,600 + 900X + 0.38y) \times L</math> (円) (新設)  (新設)  X : 足場を設置している月数(月) <u>足場ブラケットの設置月数は、2箇月(PCコンボ橋 2.5箇月)を標準とする。</u> y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) L : 足場総延長 (m) 足場延長は下式による。 1 橋脚当たり足場延長(m) = (橋脚幅+橋脚長) × 2 1 橋台当たり足場延長(m) = 橋台幅+橋台長 × 2  (新設)</p>

	改正後	現 行
正	<p>ウ 橋台・橋脚回り足場ブラケット工 橋台・橋脚回り足場ブラケット工の足場工費は、次式による。 足場工費 (円) = <math>(12.68 \times \alpha) + (4.76 \times \beta) X + 0.41y \times L</math> <u><math>\alpha</math> : 主要部材の基本料 (合板足場板 0.24m×4m 1枚、足場パイプ <math>\Phi 48.6 \times 1\text{m}</math> 1本)</u> <u><math>\beta</math> : 主要部材の月当たり賃料 (合板足場板 0.24m×4m 1枚、足場パイプ <math>\Phi 48.6 \times 1\text{m}</math> 1本)</u>  X : <u>足場ブラケットを供用</u>している月数(月) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) L : 足場総延長 (m) 足場延長は下式による。 1 橋脚当たり足場延長(m) = (橋脚幅+橋脚長) × 2 1 橋台当たり足場延長(m) = 橋台幅+橋台長 × 2  <u>(注) yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。</u></p>	<p>ウ 橋台・橋脚回り足場ブラケット工 橋台・橋脚回り足場ブラケット工の足場工費は、次式による。 足場工費 = <math>(1,600 + 900X + 0.38y) \times L</math> (円) (新設)  (新設)  X : 足場を設置している月数(月) <u>足場ブラケットの設置月数は、2箇月(PCコンボ橋 2.5箇月)を標準とする。</u> y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) L : 足場総延長 (m) 足場延長は下式による。 1 橋脚当たり足場延長(m) = (橋脚幅+橋脚長) × 2 1 橋台当たり足場延長(m) = 橋台幅+橋台長 × 2  (新設)</p>

	改正後	現行
誤	<p>ウ ネット防護工 主桁をトラッククレーンを用いて架設する場合に転落防止及び落下物防止の目的で設置する。ネット防護工費は次式による。</p> <p>ネット防護工費 = <math>(1.19 \times \alpha) + (1.19 \times \beta) X + 0.02 y</math> × A</p> <p><math>\alpha</math> : 主要部材の基本料 (安全ネット 網目 15 mm 1枚)</p> <p><math>\beta</math> : 主要部材の月当たり賃料 (安全ネット 網目 15 mm 1枚)</p> <p>X : 防護部を供用している月数 (月)</p> <p>y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)</p> <p>A : 橋面積 (㎡)</p> <p>A (㎡) = 全幅員 × 橋長</p> <p>(注) yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。</p>	<p>ウ ネット防護工 主桁をトラッククレーンを用いて架設する場合に転落防止及び落下物防止の目的で設置する。ネット防護工費は次式による。</p> <p>ネット防護工費 = <math>(20 + 25 X + 0.02 y)</math> × A</p> <p>(新設)</p> <p>X : 防護工設置月数 (月)</p> <p>ネット防護工の設置月数は1箇月を標準とする。</p> <p>y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)</p> <p>A : 橋面積 (㎡)</p> <p>A = 全幅員 × 橋長</p> <p>(新設)</p>

	改正後	現行
正	<p>ウ ネット防護工 主桁をトラッククレーンを用いて架設する場合に転落防止及び落下物防止の目的で設置する。ネット防護工費は次式による。</p> <p>ネット防護工費 = <math>(1.19 \times \alpha) + (1.19 \times \beta) X + 0.02 y</math> × A</p> <p><math>\alpha</math> : 主要部材の基本料 (安全ネット 網目 15 mm 1㎡)</p> <p><math>\beta</math> : 主要部材の月当たり賃料 (安全ネット 網目 15 mm 1㎡)</p> <p>X : 防護部を供用している月数 (月)</p> <p>y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)</p> <p>A : 橋面積 (㎡)</p> <p>A (㎡) = 全幅員 × 橋長</p> <p>(注) yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。</p>	<p>ウ ネット防護工 主桁をトラッククレーンを用いて架設する場合に転落防止及び落下物防止の目的で設置する。ネット防護工費は次式による。</p> <p>ネット防護工費 = <math>(20 + 25 X + 0.02 y)</math> × A</p> <p>(新設)</p> <p>X : 防護工設置月数 (月)</p> <p>ネット防護工の設置月数は1箇月を標準とする。</p> <p>y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)</p> <p>A : 橋面積 (㎡)</p> <p>A = 全幅員 × 橋長</p> <p>(新設)</p>

	改正後	現 行																								
誤	<p><b>3 足場工</b>  <b>(1) 塗装塗替工における足場工費の算定は、次式による（桁形式は、鉸桁、箱桁共通）。</b></p> <p><b>1) パイプ吊足場（朝顔・板張・シート防護含む）</b>  <b>塗装塗替工における足場は、全面足場板（朝顔・板張・シート防護兼用）を標準とする。</b></p> <p>桁高1.5m 以上の場合  足場工費 = <math>(7.49 \times \alpha) + (60.15 \times \beta) X + 0.271y</math> × A … 式3. 1</p> <p>桁高1.5m 未満の場合  足場工費 = <math>(6.69 \times \alpha) + (52.44 \times \beta) X + 0.235y</math> × A … 式3. 2</p> <p><math>\alpha</math>：主要部材の基本料  （鋼製足場板4m 1枚、単管パイプ4m 1本、吊りチェーン4m 1本）</p> <p><math>\beta</math>：主要部材の日当たり賃料  （鋼製足場板4m 1枚、単管パイプ4m 1本、吊りチェーン4m 1本）</p> <p>X：足場を架設している供用月数  （供用月数は小数点第1位とし、小数点第2位を四捨五入する）</p> <p>A：足場工の必要橋面積（㎡）</p> <p>y：橋りょう特殊工単価（円/人）</p> <p>(注) 1. 足場工費は、設置・撤去の労務費及び足場材にかかわる費用を含む。  2. yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。</p> <p>足場設置・撤去に使用する機械と運転日数は、桁高にかかわらず次表を標準とする。</p> <p>表3. 1 機械の運転日数</p> <table border="1" data-bbox="320 934 1430 1117"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>運転日数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック</td> <td>クレーン装置付 4～4.5t 積級 吊能力2.9t</td> <td>0.032×A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁点検車</td> <td>作業高約6m 積載質量200kg</td> <td>0.012×A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高所作業車</td> <td>トラック・伸縮アーム・プラットフォーム型 最大地上高12m 最大積載荷重1,000kg</td> <td>0.019×A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. A：足場工の必要橋面積（㎡）  2. 現場条件に応じて、橋梁点検車又は高所作業車のいずれかを選定する。  3. トラック、橋梁点検車及び高所作業車は、賃料とする。</p> <p><b>2) システム（パネル式）吊足場（朝顔・板張・シート防護含む）</b>  <b>塗装塗替工における足場は、全面足場板（朝顔・板張・シート防護兼用）を標準とする。</b></p> <p>桁高1.5m 以上の場合  足場工費 = <math>(2.57 \times \alpha) + (24.29 \times \beta) X + 0.240y</math> × A … 式3. 3</p> <p>桁高1.5m 未満の場合  足場工費 = <math>(2.42 \times \alpha) + (22.82 \times \beta) X + 0.205y</math> × A … 式3. 4</p> <p><math>\alpha</math>：主要部材の基本料（パネル式吊足場660×3,850mm 1枚、吊りチェーン4m 1本）</p> <p><math>\beta</math>：主要部材の日当たり賃料  （パネル式吊足場660×3,850mm 1枚、吊りチェーン4m 1本）</p> <p>X：足場を架設している供用月数  （供用月数は小数点第1位とし、小数点第2位を四捨五入する）</p> <p>A：足場工の必要橋面積（㎡）</p> <p>y：橋りょう特殊工単価（円/人）</p> <p>(注) 1. 足場工費は、設置・撤去の労務費及び足場材にかかわる費用を含む。  2. yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。</p> <p>足場設置・撤去に使用する機械と運転日数は、桁高にかかわらず次表を標準とする。</p> <p>表3. 2 機械の運転日数</p> <table border="1" data-bbox="320 1816 1430 1906"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>運転日数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック</td> <td>クレーン装置付 4～4.5t 積級 吊能力2.9t</td> <td>0.028×A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. A：足場工の必要橋面積（㎡）  2. 現場条件に応じて、橋梁点検車又は高所作業車を必要とする場合は、別途計上する。  3. トラックは、賃料とする。</p>	名称	規格	運転日数	摘要	トラック	クレーン装置付 4～4.5t 積級 吊能力2.9t	0.032×A		橋梁点検車	作業高約6m 積載質量200kg	0.012×A		高所作業車	トラック・伸縮アーム・プラットフォーム型 最大地上高12m 最大積載荷重1,000kg	0.019×A		名称	規格	運転日数	摘要	トラック	クレーン装置付 4～4.5t 積級 吊能力2.9t	0.028×A		(新設)
名称	規格	運転日数	摘要																							
トラック	クレーン装置付 4～4.5t 積級 吊能力2.9t	0.032×A																								
橋梁点検車	作業高約6m 積載質量200kg	0.012×A																								
高所作業車	トラック・伸縮アーム・プラットフォーム型 最大地上高12m 最大積載荷重1,000kg	0.019×A																								
名称	規格	運転日数	摘要																							
トラック	クレーン装置付 4～4.5t 積級 吊能力2.9t	0.028×A																								

足場工の必要橋面積は、一般に次式により算定する。

$$A = W \times L$$

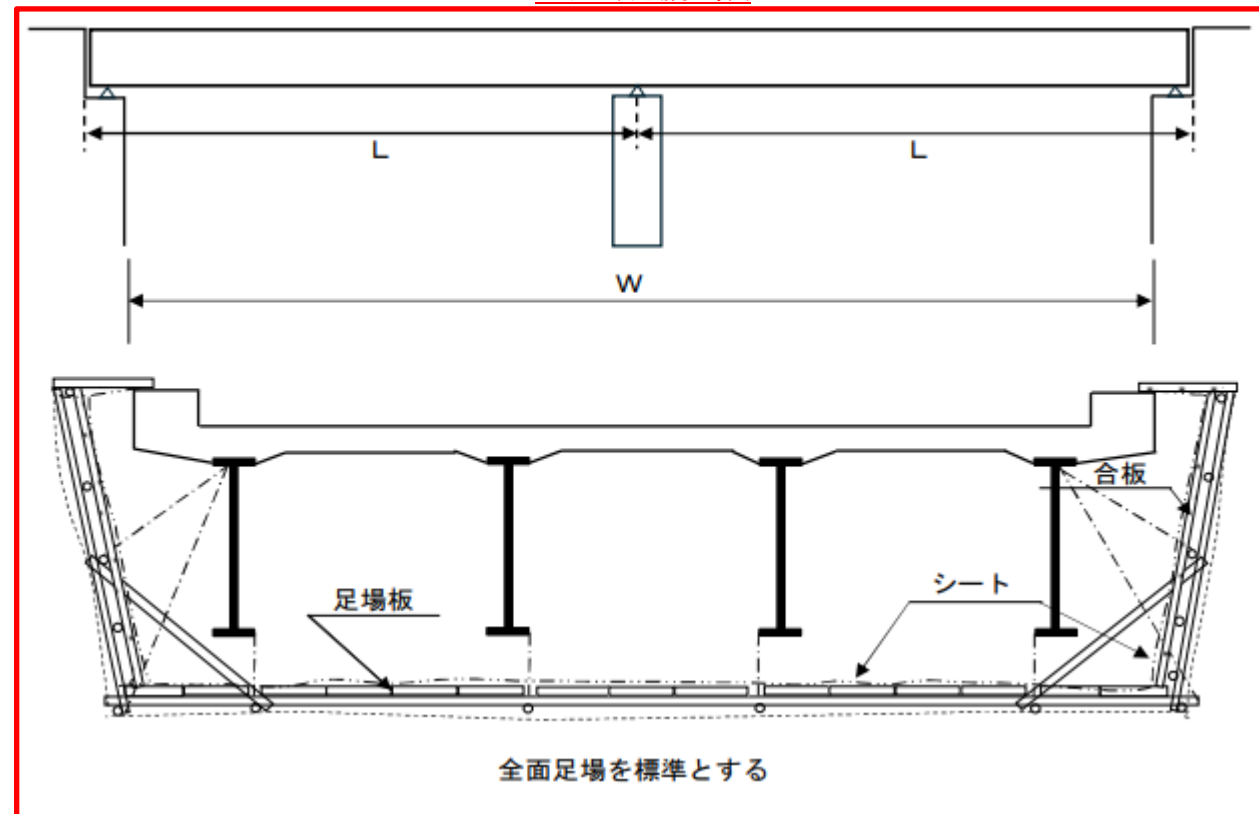
A：足場工の必要橋面積 (㎡)

W：全幅員 (地覆外縁間距離) (m)

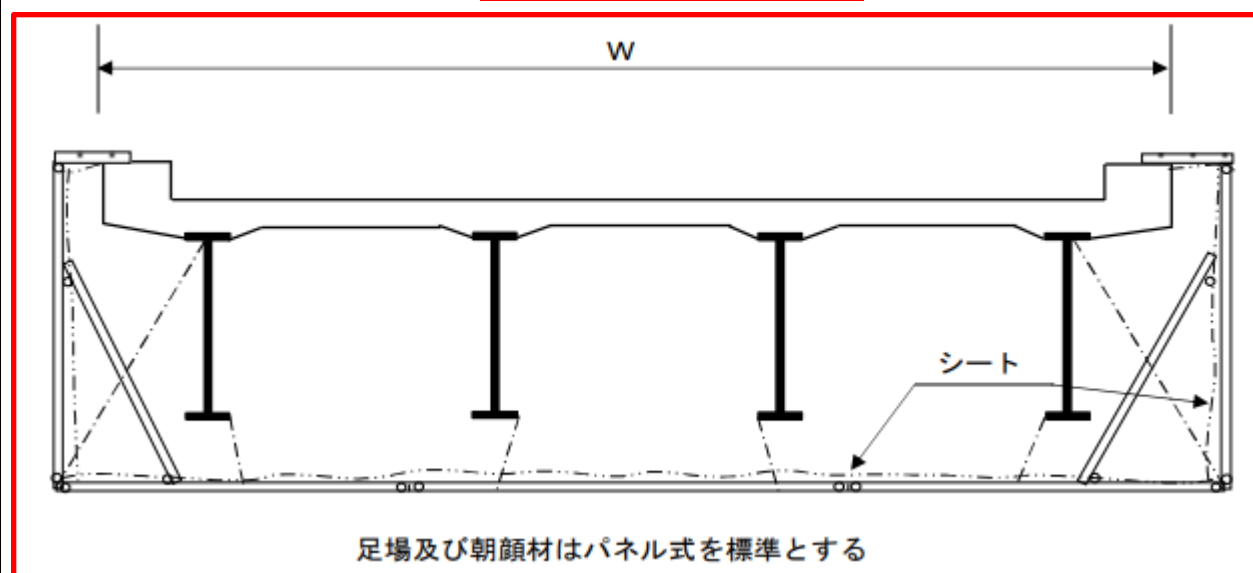
L：足場必要長 (m)

(注) 足場必要長は一般に径間長とする。

パイプ吊足場参考図



システム (パネル式) 吊足場参考図



3. 足場工

(1) 塗装塗替工における足場は全面足場を標準とし、足場工費の算定は、次式による（桁形式は、鉸桁、箱桁共通）。

1) パイプ吊足場

底面部は足場板とシート張防護、側面部は朝顔・板張防護とシート張防護を標準とし、現場条件により足場の補強や板張防護の追加等が必要な場合は、別途考慮する。

桁高 1.5m 以上の場合

$$\text{足場工費} = (7.49 \times \alpha) + (60.15 \times \beta) X + 0.271 y) \times A \dots \text{式 3. 1}$$

桁高 1.5m 未満の場合

$$\text{足場工費} = (6.69 \times \alpha) + (52.44 \times \beta) X + 0.235 y) \times A \dots \text{式 3. 2}$$

$\alpha$  : 主要部材の基本料

(鋼製足場板 4m 1枚、単管パイプ 4m 1本、吊りチェーン 4m 1本)

$\beta$  : 主要部材の日当たり賃料

(鋼製足場板 4m 1枚、単管パイプ 4m 1本、吊りチェーン 4m 1本)

X : 足場を架設している供用月数

(供用月数は小数点第1位とし、小数点第2位を四捨五入する)

A : 足場工の必要橋面積 (㎡)

y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)

(注) 1. 足場工費は、設置・撤去の労務費及び足場材にかかわる費用を含む。

2. yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。

足場設置・撤去に使用する機械と運転日数は、桁高にかかわらず次表を標準とする。

表 3. 1 機械の運転日数

名称	規格	運転日数	摘要
トラック	クレーン装置付 4~4.5t 積級 吊能力 2.9t	0.032×A	
橋梁点検車	作業高約 6m 積載質量 200kg	0.012×A	
高所作業車	トラック・伸縮アーム・プラットフォーム型 最大地上高 12m 最大積載荷重 1,000kg	0.019×A	

(注) 1. A : 足場工の必要橋面積 (㎡)

2. 現場条件に応じて、橋梁点検車又は高所作業車のいずれかを選定する。

3. トラック、橋梁点検車及び高所作業車は、賃料とする。

2) システム（パネル式）吊足場

底面部はパネル式吊足場とシート張防護、側面部は朝顔・パネル式吊足場による防護とシート張防護を標準とし、現場条件により足場の補強や板張防護の追加等が必要な場合は、別途考慮する。

桁高 1.5m 以上の場合

$$\text{足場工費} = (2.57 \times \alpha) + (24.29 \times \beta) X + 0.240 y) \times A \dots \text{式 3. 3}$$

桁高 1.5m 未満の場合

$$\text{足場工費} = (2.42 \times \alpha) + (22.82 \times \beta) X + 0.205 y) \times A \dots \text{式 3. 4}$$

$\alpha$  : 主要部材の基本料 (パネル式吊足場 660×3,850mm 1枚、吊りチェーン 4m 1本)

$\beta$  : 主要部材の日当たり賃料

(パネル式吊足場 660×3,850mm 1枚、吊りチェーン 4m 1本)

X : 足場を架設している供用月数

(供用月数は小数点第1位とし、小数点第2位を四捨五入する)

A : 足場工の必要橋面積 (㎡)

y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)

(注) 1. 足場工費は、設置・撤去の労務費及び足場材にかかわる費用を含む。

2. yの前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。

足場設置・撤去に使用する機械と運転日数は、桁高にかかわらず次表を標準とする。

表 3. 2 機械の運転日数

名称	規格	運転日数	摘要
トラック	クレーン装置付 4~4.5t 積級 吊能力 2.9t	0.028×A	

(注) 1. A : 足場工の必要橋面積 (㎡)

2. 現場条件に応じて、橋梁点検車又は高所作業車を必要とする場合は、別途計上する。

3. トラックは、賃料とする。

足場工の必要橋面積は、一般に次式により算定する。

(新設)

$$A = W \times L$$

A: 足場工の必要橋面積 (㎡)

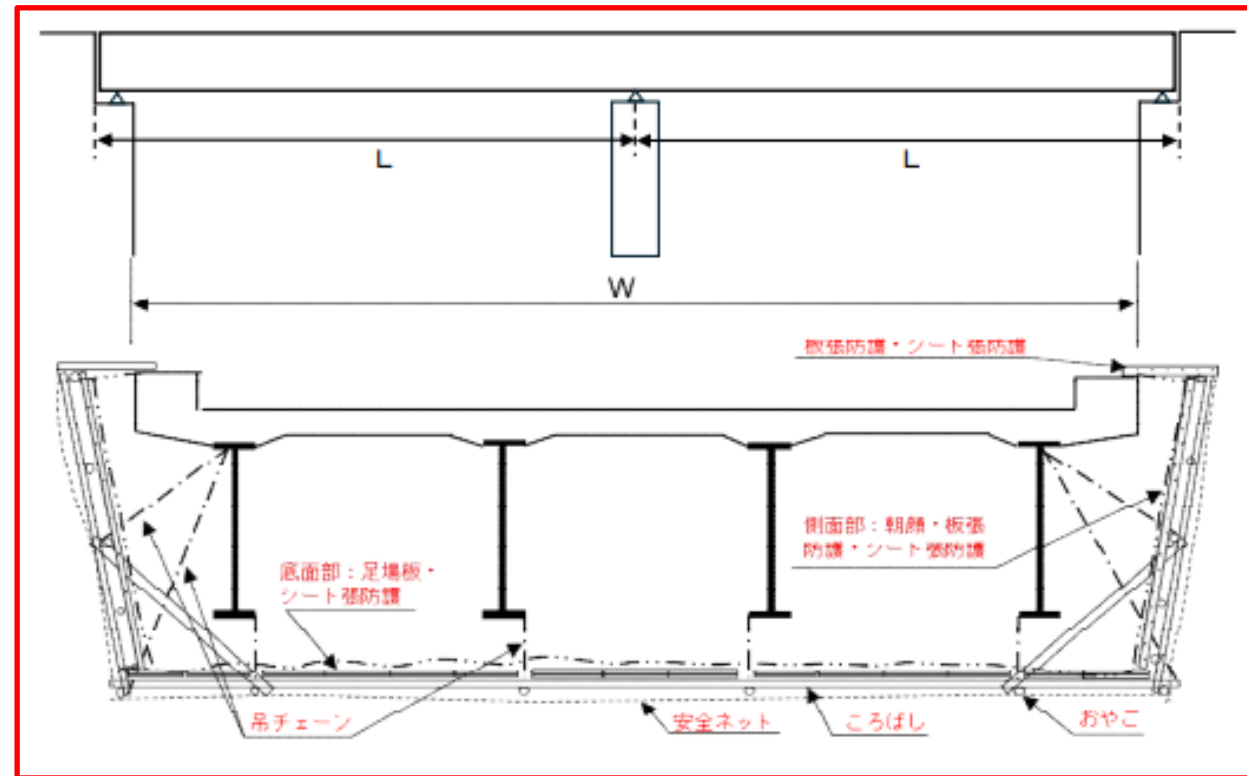
W: 全幅員 (地覆外縁間距離) (m)

L: 足場必要長 (m)

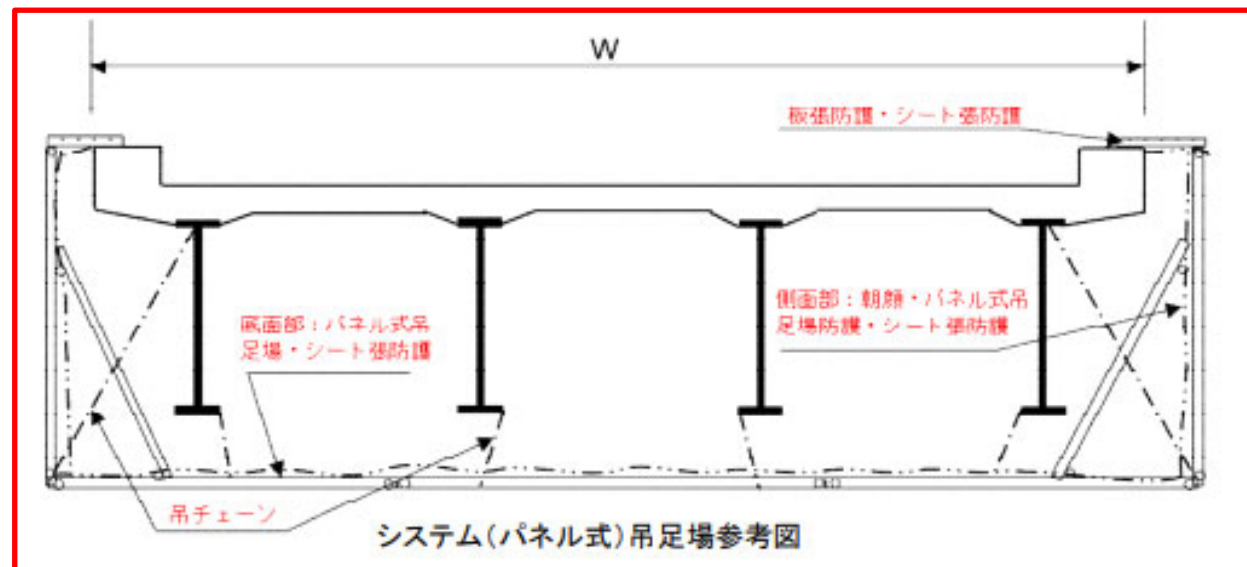
(注) 足場必要長は一般に径間長とする。

【足場参考図】

パイプ吊足場参考図



システム (パネル式) 吊足場参考図



システム (パネル式) 吊足場参考図

	改正後	現 行																																																																																																				
誤	<p><u>7</u> 単価表            (1) ひび割れ補修工（低圧注入工法）1トンネル当たり単価表  <u>補修延べ延長25m 以下の場合</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><u>n1</u></td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>n1</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>n1</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg</td> <td>日</td> <td><u>L/10×n1</u></td> <td>表 3.1、<u>表 4.1</u> 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>注入材</td> <td></td> <td>Kg</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>低圧注入器具</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 必要数量には、材料ロス分を含む。            2 <u>L</u> : 1トンネル当たり補修延べ延長 (m)            3 <u>n1</u> : 1トンネル当たり施工歩掛</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	<u>n1</u>	表 4.1	特殊作業員		〃	<u>n1</u>	〃	普通作業員		〃	<u>n1</u>	〃	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>L/10×n1</u>	表 3.1、 <u>表 4.1</u> 機械賃料	注入材		Kg		必要数量計上(注)1	シール材		〃		式 1.1	低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1	諸雑費		式	1	式 1.1	計					<p><u>8</u> 単価表            (1) ひび割れ補修工（低圧注入工法）1トンネル当たり単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><u>1×L/D</u></td> <td>表 4.1、<u>表 5.1</u></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>1×L/D</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>1×L/D</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg</td> <td>日</td> <td><u>L/D</u></td> <td>表 3.1、<u>表 5.1</u> 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>注入材</td> <td></td> <td>Kg</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>低圧注入器具</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 必要数量には、材料ロス分を含む。            2 <u>L</u> : 1トンネル当たり補修延べ延長 (m)            3 <u>D</u> : 日当たり施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	<u>1×L/D</u>	表 4.1、 <u>表 5.1</u>	特殊作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃	普通作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>L/D</u>	表 3.1、 <u>表 5.1</u> 機械賃料	注入材		Kg		必要数量計上(注)1	シール材		〃		式 1.1	低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1	諸雑費		式	1	式 1.1	計				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																	
	土木一般世話役		人	<u>n1</u>	表 4.1																																																																																																	
	特殊作業員		〃	<u>n1</u>	〃																																																																																																	
	普通作業員		〃	<u>n1</u>	〃																																																																																																	
	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>L/10×n1</u>	表 3.1、 <u>表 4.1</u> 機械賃料																																																																																																	
	注入材		Kg		必要数量計上(注)1																																																																																																	
	シール材		〃		式 1.1																																																																																																	
	低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1																																																																																																	
	諸雑費		式	1	式 1.1																																																																																																	
計																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
土木一般世話役		人	<u>1×L/D</u>	表 4.1、 <u>表 5.1</u>																																																																																																		
特殊作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃																																																																																																		
普通作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃																																																																																																		
高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>L/D</u>	表 3.1、 <u>表 5.1</u> 機械賃料																																																																																																		
注入材		Kg		必要数量計上(注)1																																																																																																		
シール材		〃		式 1.1																																																																																																		
低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1																																																																																																		
諸雑費		式	1	式 1.1																																																																																																		
計																																																																																																						

	改正後	現 行																																																																																																				
正	<p><u>7</u> 単価表            (1) ひび割れ補修工（低圧注入工法）1トンネル当たり単価表  <u>補修延べ延長25m 以下の場合</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><u>n1</u></td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>n1</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>n1</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg</td> <td>日</td> <td><u>n1</u></td> <td>表 3.1、<u>表 4.1</u> 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>注入材</td> <td></td> <td>Kg</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>低圧注入器具</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 必要数量には、材料ロス分を含む。            2 <u>n1</u> : 1トンネル当たり施工歩掛            (削る。)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	<u>n1</u>	表 4.1	特殊作業員		〃	<u>n1</u>	〃	普通作業員		〃	<u>n1</u>	〃	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>n1</u>	表 3.1、 <u>表 4.1</u> 機械賃料	注入材		Kg		必要数量計上(注)1	シール材		〃		式 1.1	低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1	諸雑費		式	1	式 1.1	計					<p><u>8</u> 単価表            (1) ひび割れ補修工（低圧注入工法）1トンネル当たり単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><u>1×L/D</u></td> <td>表 4.1、<u>表 5.1</u></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>1×L/D</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>1×L/D</u></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg</td> <td>日</td> <td><u>L/D</u></td> <td>表 3.1、<u>表 5.1</u> 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>注入材</td> <td></td> <td>Kg</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>低圧注入器具</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>必要数量計上(注)1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>式 1.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 必要数量には、材料ロス分を含む。            2 <u>L</u> : 1トンネル当たり補修延べ延長 (m)            3 <u>D</u> : 日当たり施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	<u>1×L/D</u>	表 4.1、 <u>表 5.1</u>	特殊作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃	普通作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>L/D</u>	表 3.1、 <u>表 5.1</u> 機械賃料	注入材		Kg		必要数量計上(注)1	シール材		〃		式 1.1	低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1	諸雑費		式	1	式 1.1	計				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																	
	土木一般世話役		人	<u>n1</u>	表 4.1																																																																																																	
	特殊作業員		〃	<u>n1</u>	〃																																																																																																	
	普通作業員		〃	<u>n1</u>	〃																																																																																																	
	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>n1</u>	表 3.1、 <u>表 4.1</u> 機械賃料																																																																																																	
	注入材		Kg		必要数量計上(注)1																																																																																																	
	シール材		〃		式 1.1																																																																																																	
	低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1																																																																																																	
	諸雑費		式	1	式 1.1																																																																																																	
計																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
土木一般世話役		人	<u>1×L/D</u>	表 4.1、 <u>表 5.1</u>																																																																																																		
特殊作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃																																																																																																		
普通作業員		〃	<u>1×L/D</u>	〃																																																																																																		
高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	日	<u>L/D</u>	表 3.1、 <u>表 5.1</u> 機械賃料																																																																																																		
注入材		Kg		必要数量計上(注)1																																																																																																		
シール材		〃		式 1.1																																																																																																		
低圧注入器具		個		必要数量計上(注)1																																																																																																		
諸雑費		式	1	式 1.1																																																																																																		
計																																																																																																						